

合同教育研究会議（1月11日開催）議事概要

1 開催日時

令和5年1月11日 13時00分～13時35分

2 場所

本部棟3階 特別会議室

3 出席者

鈴木学長、石堂副学長兼高等教育推進センター長、
狩野副学長兼研究・地域連携本部長、宮野副学長兼事務局長、
猪股教育支援本部長、三上学生支援本部長、橋本企画本部長、熊本国際教育研究部長、
福島看護学部長、高橋社会福祉学部長、亀田ソフトウェア情報学部長、
高嶋総合政策学部長、川崎盛岡短期大学部長、松田宮古短期大学部長、
菅原委員（学外委員：岩手大学名誉教授）、

[事務局]

新沼事務局次長兼総務室長、関屋教育支援室長、高田学生支援室長、
藤村研究・地域連携室長、北島企画室長、瀧澤宮古事務局長
八木主幹、伊藤主任主査

4 会議の概要

議事録確認

前回会議12月14日の議事録（議事概要）については、原案のとおり了承された。

審議事項

なし

協議事項

（1）国際交流戦略会議の設置について

猪股教育支援本部長及び関屋教育支援室長から、資料に基づき説明があった。現行の国際交流委員会で行っている国際交流に関する年度計画・実績の検討などは国際交流戦略会議に引き継がれること、1月下旬開催予定としている第1回会議は1月25日（水）に開催する見込みである旨、関屋教育支援室長から補足説明があった。

学長から、今回設置する国際交流戦略会議は、学生交流や教育交流、研究交流などを全体的にどう取り組むかを検討する会議で、第四期中期目標期間限りの組織ではなく継続的な組織とすることを想定しているとの発言があった。

委員から、地域の国際化が課題となっていることから、リーダーシップを発揮で

きるよう第四期中期目標期間の取組に期待するとの発言があった。
協議の結果、原案のとおり了承された。

(2) 盛岡短期大学部カリキュラム・ポリシーの一部改正について

猪股教育支援本部長から、資料に基づき説明があった。今回の改正は建築士法の改正により二級建築士の受験資格が変更となったことに伴うものであり、履修規程は改正済みであること、併せてディプロマ・ポリシーとの関連付けの整理を行ったものである旨、補足説明があった。

協議の結果、原案のとおり了承された。

報告事項（口頭報告）

(1) 令和4年度岩手県立大学の就職内定状況（12月末現在）について

三上学生支援本部長から、資料に基づき説明があった。11月末時点から12月末時点にかけて、看護学部及び社会福祉学部の内定率が伸びたこと、昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響により県内志向が強かったが、今年度は県外企業へ関心が高い学生が多く、特に県外出身者の県外志向が強い旨、補足説明があった。

(2) 2022年度APRIN e-ラーニングの履修状況について

狩野副学長兼研究・地域連携本部長から、資料に基づき説明があった。コンプライアンス教育・研究倫理教育は履修率100%が当然であることから、未履修者へ働きかけをしてほしい旨、補足説明があった。

(3) 第三期中期目標期間（平成29～令和4年度）における業務実績評価（期間評価）について

橋本企画本部長から、資料に基づき説明があった。

(4) 令和4年度「卒業年次生アンケート」の実施について

橋本企画本部長から、資料に基づき説明があった。経年変化を追うため、アンケートの設問は一部整理を行った以外は前回とほぼ同内容としている旨、補足説明があった。

報告事項（資料報告）

(1) 令和4年度第3回学務調整会議の開催概要について

(2) 令和4年度研究室保管図書点検結果について（報告）

(3) 令和5年度大学入学共通テストの実施について

(4) 令和4年度後期授業料減免の結果について

(5) 令和4年度第2回学生支援委員会の開催結果について

(6) 令和4年度公開講座・滝沢キャンパス講座の開催結果について（報告）

(7) 令和4年度リエゾンⅠマッチングフェア～新技術説明会～シーズ発表について（報告）

- (8) 「中高生国際 Ruby プログラミングコンテスト 2022 in Mitaka」結果報告について
- (9) エコプロ 2022 の出展結果について(報告)
- (10) 令和4年度第2回県と県立大学との意見交換会の開催について
- (11) 令和4年度学長表彰の候補者の推薦について

- ・ 関屋教育支援室長から、(3)の大学共通テストについて、1月14日(土)・15日(日)に岩手県立大学、大船渡高校、宮古短期大学部の3会場で開催されることから、協力をお願いするとの発言があった。
- ・ 三上学生支援本部長から、(4)について、差替え資料を机上配付していること及び修正箇所について説明があった。

その他

なし